

1月鹿児島・虎の穴セミナー “ 儲かる人とそうでない人の差 ”

(Dragon Rises)

人の欲と恐怖で成り立っているのが株価、それを描写しているのがチャートである。

安く買って高く売ることによってキャピタルゲインを得る。

数日前から数か月前からのトレンドを注視し、その流れに沿って売買をする。

商い活況な銘柄はテーマ性強い銘柄、相場のサイクルも早い。

新興市場の短期トレードで最も重要なことは、新興市場株全体の活況を見る、そしてマーケット全体の動向を把握すること。

大幅高する銘柄の本数を把握する、少なくともかつ大商いのそれであれば、チャンスはある。

大幅高の本数少ない⇒一極集中を試みる、大幅高の本数が多い⇒幅広く手掛けていく。

大幅高の本数多い 100 本以上、少ないは 30~50 本以下、5%以上の騰落率をチェックする。

予想というのは外れる運命でもある、要は継続し続けること、必ず良い結果を出す機会となる。

うれしい誤算で強烈な対策や政策、仕掛け的に何かが発生して買いが入ると、予想外に高くなることもある。

9 時前、何も考えないのではなく、こんな時に何を寄付きで買ったなら儲けになるかを考えよう。

しっかり研究すること、研究はしない、努力もなければ、儲かるわけがない。

徹底して、寄付き後の値動き、サヤ取りできる銘柄を日々のトレード通じて探しておくこと。

儲ける人と儲からない人の違いは、トレードの基本に対して頭で理解しているだけで、マーケットに向かう努力をせず、思い通りにならないと諦めてしまうケースが多い。

逆に、頭で基本を理解していなくても、努力を繰り返しながら、しつこく同じトレードを何十回、何百回も繰り返す

人は、目に見えない上達の中で、トレードを自分のものになっている。

(続く)

(2 枚目続き)

大きく利益を出す人がどのようなことをやっているかをしっかり研究すること。

想像に易いことを実践し、易いことを当たり前を考え、そして騰落を予想して、買って持続するも、下げれば損切りする。そんな投資ならやめた方がよい。

人と同じことをするのではなく、しっかりと収益上げる方法を自らで研究すること。

1000 人いれば、5 人しか運用者として成功しない中で成功する人と言うのは、やはり他人とは違う努力家。

人の 10 倍努力する。そのためには、安易にトレードを組み立てないこと。

コツコツ毎日、銘柄を吟味すること。1 日の中で売り買いしていくこと。

日々トレードを重ねることにより、トレーダーとしての実力をつけていく。

そして、その時の相場に合わせて変化に対応して 1 部株の売り買い、時として新興市場も使い、先物も取り入れ、資金投入していく。

運用の中で資金を増やしていく。日々のトレードの中で力をつけ、結果として 200 – 300 万円の資金を 2 億円や 3 億円にする。そんな感じのトレードをしているのです。

注文が多い、株価の変動要因につながっていく、それは利益を上げるチャンスです。

相場において、その瞬間の何となくと言う感覚的な判断が、売買手法の大半を占めている。

自分の相場観と、テクニカルと需給の分析をしっかりと行うこと。

場数を踏んだ経験は必ず生きてくる。

(続く)

(3 枚目続き)

ジェイコム男の金言ではないが一言

一日の予想が当たればいい、一日の相場予想を着実に当てて、それをコツコツと積み重ねていく。

30 日続けば、結果的に 1 ヶ月の予想が当たったことになる。

長くてせいぜい 1 週間単位の予想にとどめる。

さあ、1 月の虎の穴セミナー・鹿児島を始めましょう。

株トーク

マーケットストラテジスト 坂口隆信

(メモ)